平成２９年度　事　業　計　画

１、全体の事業

（１）柏崎市シルバー人材センターは「公益性を重視した公益社団法人」のセンターとして、地域社会に貢献する
（２）厳しい経済情勢を乗り越えるため、役職員及び会員一丸となり事業の拡大を図るとともに、新規会員の拡充、モラルの向上、就業意識の高揚を図る
（３）センターは、会員が働く事、社会貢献をする事により生きがい感や達成感を得られる所であるよう、さらに諸事業を推進するとともにコンプライアンス、リスクマネジメントを強化する
（４）きらっと光る良いお店「新潟県知事賞」、内閣府「社会参加章」を受賞した「シルバーふれあいサロンやまゆり」をより一層、会員、市民、商店街に溶け込むようにする
（５）遊休地、耕作放棄地を有効活用し、直売所と連携した農業支援事業を行う
（６）労働局の指導に基づき適切な契約処理を行い、請負・委任になじまない仕事については一般労働者派遣事業として推進する。また、必要に応じ有料職業紹介を行う
（７）介護保険法に基づく訪問介護事業、居宅介護支援事業を推進する
（８）介護予防・日常生活支援総合事業を市と連携して行う
（９）事故ゼロを目指し、パトロールや研修を行い、会員自身の健康管理を推進しながら、より一層安全就業に努める
(10) 柏崎市より指定された管理者として、ワークプラザ柏崎の管理運営を行う
(11) ワンコインの有償ボランティアによる買い物代行など、「買い物弱者支援事業」を行う
(12) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用して、派遣事業に特化した人材の掘り起こし、雇用就業先の確保、高年齢者の就業機会の拡大を図ると共に人材不足分野の担い手として貢献する
(13) 空き家対策、農福連携などを視野に、行政と諸団体との連携を図る
(14) 組織体制の強化と効率化を念頭に部会の再編を行う（平成30年度の改正を目指す）

２、組織活動

理 事 会　　原則として毎月開催

広報部会

（１）「シルバーだより柏崎」の発行　年２回実施

第１１４号	９月１５日	８ページ
第１１５号	４月１５日	１２ページ

（２）編集方針

①事務局・理事会の動き、事業計画・報告、各地区活動の状況、

いきいき就業体験やシルバーめい人登場、部会活動の紹介、シルバー人材センター事業のPR、ワークプラザ柏崎のPR、「やまゆり」通信など。

②「シルバーだより柏崎」の見やすい親しみのある会報を目指す。

（読みやすく写真を多く）

（３）「シルバーだより柏崎」の周知

１．全国のシルバー人材センターへメールで配信。

２．ホームページにシルバーだよりを掲載する。

研修部会

（１）事業普及啓発促進月間の実施（１０月１日～３１日）

・シニア作品・じまん展に参加し、シルバー人材センターのＰＲ活動を実施する。

・事業啓発パンフレットとポケットティッシュを配布する。

・ワークプラザ感謝祭でシルバー人材センター紹介コーナーの設置と会員作品を展示し開催に協力する。

（２）１０月第３土曜日の「シルバーの日」を中心に各地域においてボランティア活動（クリーン作戦）を実施する。（地区委員、班長に協力要請）

（３）会員研修会を実施する。

（４）事務局、他部会と連携し、各種講習会を企画する。

安全部会

（１）重点目標

「点検・声かけで事故防止、健康で無理せず安全就業」

つもり・はず・たぶん・だろうが事故のもと

（２）実施計画

今年度テーマは「マナーとルールを守って安全就業」です。

会員としてのマナー、守らなければならないルールを再認識し、「一人一人の言動が、シルバー全体の評判になることを意識して行動しよう」を合い言葉に、安全就業を進めていきたいと思います。また、昨年より力を入れている危険予知を意識した活動をさらに推進します。

①組織を生かした意識啓発

イ、安全・適正就業推進委員への協力要請

・安全・適正就業推進委員及び職群班合同研修会（３月）：マナーと安全について講義

・地区委員長会議（適宜）

・地区研修会（適宜）

ロ、安全部会の開催（適宜）

・年間活動の具体策について

・新年度事業計画について

・安全対策についての検証

・事故発生時の対応

ハ　職群班ごとに安全担当会員を選出、自己管理を徹底

②主な安全就業対策

イ、作業前朝礼の実施と事前点検　安全・適正就業ミーティングチェックシートの活用徹底

ロ、指差し呼称の徹底

ハ、機械器具、安全保護具の点検整備、装着状況（安全就業パトロール時に実施）

ニ、就業現場の総点検

・安全・適正就業推進委員による安全就業パトロールの実施（６月～１１月）

・屋外作業を中心とした職群班及び女性会員の就業場所にも拡大

ホ、安全部会による事故調査並びに再発防止の周知徹底

・重篤事故時は専門家に依頼情報を共有する

ヘ、高齢者運転事故防止に向けての運転診断の実施

③安全・適正就業強化月間の取組み（６／１～９／１０無事故１００日キャンペーン実施）

イ、安全意識啓発のための注意喚起

ロ、資料配付

ハ、安全・適正就業推進研修会（県連合主催）への参加

④会員の健康管理について

イ、職群班毎に救急薬品の提供

ロ、血圧器、ヘルスメーター、視力測定等による簡単な健康管理の勧め（事務局に設置済）

ハ、市民検診、個人検診による健康管理の徹底

二、会員向け健康講話について検討

⑤その他の啓発活動

イ、声かけ運動の実施　朝礼時に声だし運動シートを全員で唱和　指差呼称の実施

ロ、ヒヤリ・ハット報告書の募集

ハ、安全掲示板の設置（事故発生状況を掲示）

二、安全就業シール配布

ホ、トラブルレポートの作成

ヘ、安全就業通信の全会員配布（年３～４回）

ト、熱中症や凍結転倒防止等季節的な注意喚起（適宜）

チ、「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底

リ、就業先の明確化（家族への就業先の明示）

事業部会

リサイクル事業を中心に活動し、それぞれの事業の売り上げ増大や活性化に協力する。

（１）シルバーふれあいサロン「やまゆり」

全国でも珍しい１３０人のボランティアによる運営、地産地消の推進、生き甲斐場の創出などが評価されており、他市シルバー人材センターから注目され視察も相次いでいる。２９年度もお客様に喜んでもらえる直売所兼サロンとして運営する。また、４年目に入る買い物支援事業ではお買い物の立ち寄り場としての役割も担うなど、商店街の活性化にも協力する。ボランティアの方が気持ちよく参加してもらえるような環境を整え、お客様にさらに利用してもらえるよう商品・店内陳列に配慮する。利用率の向上やさらなる市民への周知を目指し、楽しい企画を提案し、運営に協力する。チラシ配布等ＰＲを兼ねた各種イベントへの参加は継続する。

（２）刃物研ぎ

２９年度は、事業の収益増大のため、さらなる新規会場開拓のため各町内会等への呼び掛けをする。また新しい参加会員を個別に声掛けし、増員を行う。事業継続のため、技術の向上を目指す。町内会へお願いし、各家庭に配布していただく刃物研ぎのＰＲチラシを有効活用し、シルバー人材センターの事業のＰＲも引き続き掲載する。事業が円滑に行えるよう作業者をバックアップし、お客様に度々利用してもらえるような対応を心掛ける。効率の良い事業を目指す。

（３）リサイクル自転車

再生できる自転車が年々減ってきていることを考慮し、市民や会員宛に自転車の寄付をＰＲにて募る。再生した自転車は完売を目指し、販売時には陳列、受付等協力する。

（４）チャイルドシート貸し付け

安全に使用していただくため、平成２９年４月１日より貸出期間を短縮し、それに伴う料金の改定を行う。また、市民にご理解いただけるようＰＲをする。

引き続きシートの台数を確保するため、様々な機会を利用し寄付を募ったり、主に保育園児保護者にＰＲを行う。

（５）新規独自事業について提案・検討する。

女性部会

（１）福祉・家事援助サービス事業及び、介護保険事業の拡大を図る為のＰＲ活動を実施する。

・シニア作品・じまん展にて作品展示、パンフレット配布、各自口コミ活動など

（２）就業の質の向上・拡大のための各種講習会を実施する。

・料理講習会、手芸講習会

（３）会員の増強・拡大のため、研修部会と協力し一般の方も含めた講習会を企画する。

（４）手芸や編み物など販売できる商品の製作の手助けをし、「やまゆり」の運営に協力する。

・手芸の会を開催

総務部会

（１）長期計画に沿った運営をしているか検証し、必要に応じ軌道修正を提言する。

（２）会員研修旅行（日帰り）・会員忘年会などを企画・検討する。

（３）その他、どの部会にも属さない事項や問題点を検討し、事象の解決にあたる。

３、介護保険事業

・訪問介護事業に於いては、新潟県シルバー人材センター連合会の委託を受け、介護職員初任者研修（ヘルパー資格取得）を行い、人材を確保する。

・居宅介護支援事業に於いては、事業所加算を継続し、より高度な支援を心がける。
・訪問介護員及び介護支援専門員の研修に努め、サービスの向上を目指す。

４、ワークプラザ柏崎

（１）「ホテルのフロントのような対応」を心がけ、利用者の満足度向上に努める。
（２）稼働率を意識し、積極的な自主事業、感謝祭などを行い、新たな集客と、リピーターの定着に努める。
（３）市民が安心して利用できるよう、安全、衛生管理の徹底に努め、アンケートを実施して、お客様の声を反映させる努力を行う。

５、連携

（１）柏崎市、新潟労働局、新潟県労政雇用課及びハローワークとの情報交換を密に行う。
（２）全国シルバー人材センター事業協会、北信越シルバー人材センター連合会及び新潟県シルバー人材センター連合会及び他のセンターと連携し、主催行事に参加して情報交換と資質の向上を図る。